



R.I. 第 2630 地区 **高山中央ロータリークラブ**
WEEKLY REPORT

2008 ~ 2009 年度 高山中央 RC 会長テーマ 「ひとつの心で」

会長 三枝 祥一 幹事 足立 常孝 会報委員長 津田 久嗣

創立 1991 年 5 月 20 日

事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

例会日 毎週月曜日 PM12:30 ~

ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

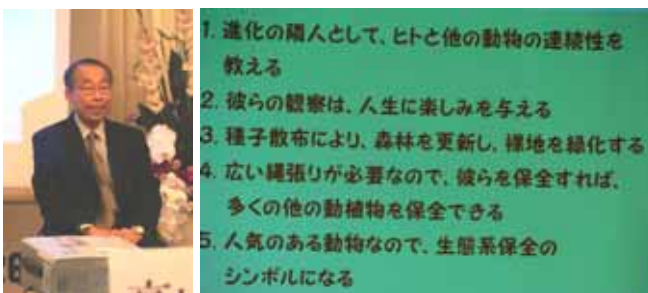
	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 770 回	47 名	42 名	36 名	-	85.71%
前々回 768 回	47 名	42 名	36 名	1 名	88.10%

<点 鐘> 会長 三枝 祥一

<ソング> それでこそロータリー II

<会長の時間> 三枝 祥一

昨日の IM に出席された皆さん、朝早くから夜遅くまで大変ご苦勞様でした。



1. 進化の隣人として、ヒトと他の動物の連続性を教える
2. 彼らの観察は、人生に楽しみを与える
3. 種子散布により、森林を更新し、裸地を緑化する
4. 広い縄張りが必要なので、彼らを保全すれば、多くの他の動植物を保全できる
5. 人気のある動物なので、生態系保全のシンボルになる

後ほど、何人かの方に発表をしていただきますが、第 1 部の講演では京都大学名誉教授で、日本モンキーセンター所長の西田利貞氏のチンパンジーの生態を面白おかしく話していただきました。

午後からの第 2 部の祝宴の席上、2 時過ぎに高山の金子事務所から、金子一義代議士が、国土交通大臣に任命されたとの連絡を受けました。

平成 15 年国務大臣(行政改革担当大臣他 9 担当兼務)以

来、2 回目の大臣ですが、今回は、中山成彬氏の辞任による急ぎよの登板です。

大変短い期間だと思いますが、国土交通大臣と言いますと、昔の運輸大臣、建設大臣、北海道開発庁長官、国土庁長官を合わせた大臣で、重要閣僚のポストになります。

過去、扇千景氏、石原伸晃氏他が歴任し、今の建設不況の中、地元にとっては大変期待される大臣ではないかと思えます。



<幹事報告> 幹事 足立 常孝

◎国際ロータリー第 2630 地区 ガバナー事務所より

・ロータリーレート変更のお知らせ

10 月より 1 \$ = 106 円

◎2009-2010 年度ガバナーより

・メールアドレス変更のお知らせ

新アドレス 0910ise@rid2630.org

○ロータリー囲碁同好会日本支部より

・「第 7 回ロータリー全国囲碁大会」開催のお知らせ

日時：11 月 29 日 (土) 10:00 ~

会場：日本棋院会館

ホストクラブ：東京 RC

登録料：7,000 円

<「ダメ・ゼッタイ」国連支援募金事務所より>

- ・国連支援募金に協力の御礼状

<活動計画書>

- ・桑名北 RC

❖10月6日(月)に市川東 RC の会員 11 名夫人 1 名の 12 名が例会に参加されます。

❖10月27日(月)100%出席例会にご協力下さい。

❖訃報のお知らせ

パストガバナー 松本博一会員(岐阜東 RC)

❖地区大会登録のお願い 本日〆切り

登録料 ¥8,000

11/16(日)

岐阜都ホテル

❖本日例会終了後理事会を開催いたします。



<IM 報告>

下田 徳彦

私は入会年度なので初めて IM に参加いたしました。会の目的をバスの中で先輩から教えて頂き、また本会のご挨拶の中でも「交流・親睦」が最大の目的と理解しました。当日は 1 部の講演会、2 部の懇親会、そして 3 部の高山に戻ってお疲れ様会……と、自分なりに十分に交流・親睦がはかれたと思います。先輩方におかれましては最後まで御面倒を見て頂きありがとうございます。

一番印象に残った事は、京都大学の西田利貞先生の講演会「チンパンジーと環境問題」です。特にチンパンジーの習性や生態の永年にわたる研究結果については、大変興味深い内容で 1 時間の講演があつという間でした。私たちと祖先が同じであるチンパンジーは、大型類人猿の中でも最も近い関係にあり、我々人間が何気にする行動と非常に似ているようです。川一つ挟んだ生活圏の違いにより文化の違いがあり、そこには社会があり掟があり、リーダーがいて、その下にしっかりと順位が定められて統制をとっているようです。

また年寄りに対する敬意もあり、仲間同士の駆引きも人間社会に似ており、強さとまめさはリーダーの絶対条件のようです。チンパンジーをもっと深く研究をしていく事は、即ち我々人間社会を研究する事に繋がり、人間の本能や潜在能力を知る上でも大切な事だと思いました。



長瀬 栄二郎

先日、美濃加茂での IM に参加して参りました。

今回で二度目の参加となりましたが、美濃加茂へ向かうバスの中で、改めて IM の意義をお尋ね致しました。地区の範囲が広域であるなか、分区の規模での親睦を図ることが目的であるということで、そのような心意気で臨ませていただきました。

講演会と親睦会を柱とした集まりでございましたが、講演会では、京都大学の名誉教授で現在は日本モンキーセンター所長をしておられる西田利貞さんのお話を伺いました。西田さんはチンパンジー研究の第一人者で、人間とチンパンジーは霊長類としてもっとも近い関係であることをはじめ、行動や社会形成における人間とチンパンジーの比較のお話をいただき、大変興味深いものでございました。親睦会では、津軽三味線の演奏やヤイリギターのデモ演奏などがございまして、バンドにも参加させていただいている者として、ギターの音色の良さに感銘を受けてまいりました。



永家 将嗣

9月28日に高山からバスで16名の参加でインターシティー・ミーティングに出席してきました。第一部では「チンパンジーと環境問題」というテーマで京都大学名誉教授・(財)日本モンキーセンター所長の西田利貞氏の基調講演がありました。内容は主にチンパンジーの生態についてのお話でした。

人間の起源はアフリカであり 700 万年前から人間として枝分かれしてきた。

だから人間もゴリラもチンパンジーも子供をあやす時、親が寝転んで子供を足に乗せる「飛行機」という行為をする。1つの群れで20~150匹 構成は雄10 雌30 子供50位で雄が絶対的権限がある。その中でも第一位の雄がリーダーで雌を独占できる。そんな権力を持ちたいから18~20才位の強靱な雄はリーダー争いをする。



第一の任期は平均5年位である。一位になると喧嘩はなるべく避けて保身に走り「ディスプレイ」という威嚇行為で川の中に石を投げ入れて力を誇示する。また第2位と第3位が手を組まないように注意している。など結構1位を維持するのに努力をしている。第3位のチンパンジーが自分は喧嘩はせず、1位に付いたり2位に付いたりしてお互いをけん制して結構いい思いをしている。

雄の喧嘩の原因は

- ・排卵の雌の奪い合い
- ・連合相手を確保する為
- ・毛づくろい相手を確保する為

雌の喧嘩の原因は

- ・食べ物の奪い合い
- ・子供同士の喧嘩に親が出る

組織は「離合集落」で食べ物がないときは小さなパーティーになっていく。集団は分裂しても合併はない。

雄は力がなくなれば順位が下がり、雌は高齢になっても順位は下らない。

どこか人間社会に似ているところがあるのを感じました。

<ニコニコBOX>

昨日の、IM 出席の皆様ご苦勞様でした。また、本日のIM 報告をして頂く方々、よろしくお願ひ致します。

三枝 祥一

昨日は私と女房2人の60歳還暦食事会に子供達が招待してくれました。至れり付くせりのもてなしに心から感謝いたしました。長女夫婦・次女夫婦・長男夫婦・三女・母親・孫・総勢11人の大家族です。今後、それぞれ家族に幸多かれと！！

中田 一男

私事、父の三回忌法要が無事終わりました。月日の経つのが大変早く感じます。また、この頃急に寒くなりました。皆様お身体には充分に気を付け、頑張りましょう。

松之木映一

本日、早退させていただきます。

永田 富次

帰る、ゴメン。

高原 武夫